

未来に残したい草原の里100選

「霧ヶ峰」選定

全国発信、維持活用の推進期待

諏訪、茅野、下諏訪の3市町にまたがる霧ヶ峰が、美しい草原の風景を次世代へ受け継ぐ目的で選定している。「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた。ウェブサイトや冊子、フォーラムなどを通じて「霧ヶ峰」が発信されるほか、他の選定地域との交流によって草原の維持活用の推進が期待される。

(鮎沢健吾)

15日の霧ヶ峰自然環境保全協議会で、県諏訪地域振興局が報告した。3月に2回目となる選考があり、同協議会が今回初めて応募した霧ヶ峰も選ばれた。選定地域はこれだけで全国48カ所、長野県関係は3



ニッコウキスゲが咲き誇る7月の霧ヶ峰。「未来に残したい草原の里100選」に選定された

定されている。霧ヶ峰がその一つに選ばれたことは意義あること」と強調し、草原の里にふさわしい活動をしていきたいと述べた。

全国草原の里市町村連絡協議会の主催。

「里」には草原を地域の資源として活用してほしいとの思いが込められているという。秋には認定書授与式とフォーラムが予定されている。

力所となった。

協議会の土田勝義座長は「有名かつ重大名誉教授は「有名かつ重要な草原地域がこれまでに選

振興局環境課は「霧ヶ峰を全国にアピールする機会を増やしていきたい」としている。